

仙台市職員研修所 20040518

自分の住まいは泉区なので社会人のための一般講義など大学で聞く機会がありましたら、是非またお聞きしたいです。

国語力のなさを痛感しているところですが、言いたい本筋が通っていることがまずは大切と思いました。

問題を解決することが、自分の仕事だと、それが仕事をする事だと明確に言い切られると辛いものがあるかな。他の人との連携をうまくって同じ思いで問題解決に向き合う環境をどう作るかが課題だと思った。

特に説明責任が必要な場面が多いので、わかりやすく図式化できればいいことがわかりました。

自分の仕事をやりたいうことを図に表してみようと思いました。慣習ではなく自分で考えて、とっていただけにとっても参考になりました。小さなことをコツコツ掘り下げてやってみます。

今までに聞いた事のないお話で、とても興味深く聞くことができました。一言一言が納得させられる内容でした。これからは少し高い所から自分の仕事を見直し、より掘り下げた内容にしていきたいと思いました。

久恒先生のパワフルで興味をひく言葉の使い方は竹内順一氏(東京芸大大学美術館)を思い出しました。

もう少し時間をかけて詳しくお話をお聞きしたいと感じました。

昨年「できるビジネス図解」を購入し、遅まきながらわかりやすい資料作りを勉強しました。本日、更に「図」の重要性、必要性がわかりました。

自閉症の方やADHDの方へは資格に訴える情報提供が有効!

文章だと長くなるので図なら書けるかもという気がします。チャレンジしてみます。マネやパクリでつないだ仕事よりも自分の発案で解決した仕事の方が(それがどんな小さなことであっても)面白かったし、結果も出ている気がしています。

時間がもう少し欲しいと思います。図のテクニック等のお話を聞きたかった。

日頃、仕事の表層しか見ていないのではないかと疑問を持ちながら働いていく必要があると感じました。業務の改革 改善をと言いつつも自分にも理解していないのではないかとそういう不安もあり、大きな壁を感じています。今日の講義で(野田先生のお話から引き続き)自分で考えることの重要性を改めて実感し、少しずつでも前進していければと思います。

少子化の原因 影響・対策の話をお聞きした。保育行政を仕事にしている私にとっては非常に興味があり、またサービス業窓口を図解してみたいと思いました。先生のユニークな発想に共感しましたので、早速若い人たちに説明したいと思っています。

先生の講義は5年目研修以来2回目となります。「てにをは」係長ではなく「図解」係長の話はこれまでの立場への変化において非常に参考となりました。

最近思っているのは箇条書き風なものを創刊がわかりやうくなるよう 今回の講義の配布資料にもあった、フローチャートに類似したものがありますが、私はこれに絵、写真などを付加してイメージを伝えたほうがよろしいかと思っています。図+マンガでは何か欠点はあるでしょうか?

非常に痛いところばかり突かれたような気がします。小さな仕事をコツコツと掘り下げることと、鳥瞰指向を持つことは一見相反するようで、同じ貴重な事だと思っています。

仙台市職員研修所 20040518

従来型の考え方からの脱却(公務員としての物事の考え方)について考えさせられた。

もっと図化する効果などを聞きたかったです。野田先生ほどではありませんが、とてもおもしろかったです。残念なのはもう少しマイクを離していただくと美声がよく聞こえやすくなるのでは？

オリジナリティーの持った仕事を続け、係長職として役目を果たしていきたいと思います。

現在、図で物事を考えることを実践中です。

物事は関係性で成り立っている。文章にはごまかしが入るといって指摘は新鮮だった。

今日その宮城大学に野田先生や久恒先生といったすばらしい先生方が居られる(居られた)ことがわかり明日にでも久恒先生のホームページにアクセスしてみようと思います。

現場主義は賛成です。現場を知らないで企画しても納得は得られません。

図解の手法を取り入れながら、泉に到達できるよう取り組んでいきたい。

大学卒業後、仙台市役所に就職したわけですが、コミュニケーション能力や幅広い教養の必要性については常日頃から感じていました。図で仕事内容を把握することは非常に有益であると感じました。

賛同する部分とそうでない部分がありましたので、感想程度の軽い気持ちでアンケートを提出致します。勉強については、自己実現のための勉強を行うことは大切だと思う。(勉強ではなく学習かもしれない)

久恒先生のお話は学校の先生方にも聞かせたいです。仕事は「問題解決」とか「足元を深く掘れ」という事は教員がもっと意識していくべきだと思います。

自分の仕事を他都市の真似ではなくいかに掘り下げることが大切かわかった。

仕事は学校から市役所職員に変わったばかりです。色々な講座や企画を説明するのに図で表してみたいと思います。

野田先生の講演からも社外(職場外)の方との交流が大事であり、大切にすることを再認識しました。物事を関で考え図解することは考え方をまとめることにも役立つと考えます(KJ法)豊かな自己表現力、コミュニケーションの取り方に関し、今後更に身につけなければならないと思いました。

説得型行政の文書は当り前のように実施され、今まで学校現場に所属し、受け取る側にいた。図で示す方法に興味を持ちました。先生の著書を読んでみようと思った。

事例も踏まえ、メリハリの効いた講義で大変わかりやすかつ活かせる内容と感じました。短い時間内での講義でしたので、深く理解することもできなかった。

様々なコミュニケーションの道具を駆使してまさに自己PRの重要性を説いている感じがしました。

現場からの発想」についての講演はとても興味深かったです。資料を参考にするだけでなく自分の場所をよく見たうえで自分の頭で考えて行動していきたいと思いました。

話が漠然としていたため、内容を今ひとつ理解できませんでした。

今までの自分の思考回路の中には先生のような考え方はなかったのですが、まさに目からウロコです。今後は鳥の目で物事を見て考えていきたいと思っています。

仙台市職員研修所 20040518

目からウロコとはこの事ではないでしょうか？

保育所の中で活かせることは・・・と思いながら聞かせて頂きました。

図で考える。本屋にあったのは知っていたが、まだ読んでいない。

仕事はコツコツする、職場内から外に出る。

模倣作業からの脱却が課題です。「関連性」を考えていく能力を意識し、本日の内容を職場に持ち帰ろうと思います。

図解して考え、相手に理解させるというのもとても有効であると思いますので文章か図解どちらか分かりやすい方を用いるのが良

国交省の合意形成委員会が自分として関心の高い部分でした。今後委員会についてはアンテナを張っていきたいと思います。先生のご活躍を期待しています。

文章表現よりも図解で示したほうがわかりやすいというのに納得しました。

最近の行政が納得型ではなく、説得型であることを認識した。そして情報を合意する手段ということが、わかった。時間があれば、「仕事の掘り下げ～表」の作成までのご説明頂きたかった。

視点を変えてみることの重要性を再認識させられる内容のお話でした。有意義な研修を提供していただきありがとうございました。

勉強してはいけない！最初はこの人は何を言ってるんだ？そでは仕事ができないだろうと思いましたが、講演を聞いて理解できました。

学校という学びの場を子供達にとっても働く職員にとっても快適で機能的な空間にしていくなめの方策、考え方のヒントを得たように思います。

今までの経験を基にした貴重なお話ありがとうございました。

明日から今までとは異なった仕事の見方ができると思います。

原点に帰って一から業務を見直すきっかけにしたいと思います。(オール電化対策等)

先生の講演の中に今の自分自身の課題を考えるキーワードがたくさんあり大変参考になった
表面だけサラッとやってその問題の本質について真剣に考えていない
問題を掘り下げて取上げていない
自分の意見なく上司の意見を代弁してるだけ
企画力がない(パクリが多くオリジナルな発想に乏しい)

市民のニーズから出発し、問題を深く掘り下げて、考えながらその解決に向けて何ができるのか考えていくという根本に立ちかえる必要があると再認識できた。

看護の中でも患者様を系統図と称して図に表し、看護計画に役立てております。先生のご講義はとても興味深く傾聴する事ができました。

勉強はマネとパクリの連続」と目からウロコが落ちる思いであった。自分の今までの仕事も同じようなものであったかもしれない。

あの有名な本の著者が先生とは知らず、興味を持っていた本だけに、内容の「図」の部分が短く残念でした。著書も読ませて頂き、今後の業務に役立てたいと思います。我々の業務も難しい文書から始まる場所があるので、シンプルに地域の現状にあった「図」を考えていきたい。

仙台市職員研修所 20040518

仕事物事を図に落とし
てから考えて見るとい
う手法に私も共感しま
した。

文章を図に変えた教
習に取り組みたいと思
います。

「マネ(勉強)をせず、
自分で考える」のお言
葉にはショックを受け
ました。今後自分の仕
事の進め方にもこの
ことを生かしていきたい
と思います。

全国区で活躍されてい
る先生の講話を聞く
ことができ、とても新鮮で
した。

今まで学校に勤務し
ていましたので、先生
のお話のような内容を
知る機会があまりあり
ませんでしたし、興味
を持つ事も少なかった
ように思います。

いざ図解してみようと
思うと、筆が容易には
進まない事に気がつ
いた。描くにはよく理解
していないと描けない
のだが、描いていくこ
とで問題点が浮かび
上がるのではないかと
思う。問題解決の手法
としても利用可能では
ないかと思う。

仙台市ではパークアイ
ランドを提案している
ようですが、宮城大学
の方にも是非渋滞緩
和につながる提案をお
願います。

先生のお話の中で仕
事は問題解決であり
改善・改革は図を作り
変え納得型行政を推
進させる事が印象的で
した。

本日の研修会で初め
て久恒先生を知る事
ができました。

少し早口で聞き取れな
いところがあった。

野田先生の講義に引
き続き、久恒先生から
も行政に対する厳し
い、かつ的確な指摘、
アドバイスは市職員
ならずとも深く感
たしました。

現在の職場の仕事を
図解化して全体を検証
すると問題点の発見
解決の手がかりに
気付くと思われる。

Webはおもしろい試
みです。今後ミラーで
目の不自由な人への
サイトを！

図解する上でのテクニ
カル的な話も聞かせて
頂きたかった。

職場でも昨今、具体
的なイメージをペーパ
ーに表す作業をしており
ます。(先生の図とは
ほど遠いですが)若い
職員共々共通の認識
を持てるよう努めてい
きたいと思います。

大学で学生が研究し
ている話・・・さわりだ
けでもまさに「納得」。
今日は短時間の中での
その「納得」がとても
たくさんあって、楽しく
しかも心にしみ、自分
の意識改革や共感で
きる有意義なお話でし
た。私の仕事を図にし
てみたら・・・と考えると
混乱・・・でもその意図
はよ～～く伝わり発想
転換する機会、場を
与えてもらいました。野
田先生といひ、パワー
に圧倒され今4時の私。

現役大学教授のお話
を生で聴く機会に恵ま
れていませんので、講
義の内容とともに話し
方なども含めて聴かせ
て頂きました。私の職
場では消防局採用の
職員のみが勤務して
いることから内容につ
いては斬新なイメージ
を受けました。

限られた時間というこ
ともあり、図解につい
ての説明が少なかった
のが残念でした。この
研修をきっかけに著書
やHPなどで理解を深
めたいと思います。

「できる人になるには
勉強してはいけない」
勉強は他のマネであ
る」とのお話について
なるほどと思いました。
ご講話大変良かったです。